

upr CSR REPORT

2019-2020

SOCIAL SHARING SUPPORTER



RENTAL PALLET / SMART PALLET / ASSIST SUITS / TRACKING SOLUTION /
WORLD KEEPER / REMOTE MONITORING SOLUTION / CAR SHARING SOLUTION

upr ユーピーアール株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル12F
TEL:03-3593-1730(代) FAX:03-3593-3020
<https://www.upr-net.co.jp/>



upr ユーピーアール株式会社

uprの循環型宣言。

Social Sharing Supporter

～社会のインフラをシェアするupr～

uprは2019年6月12日に東京証券取引所市場第二部に上場し、
これまで以上に社業を通じて社会に貢献することを宣言します。
「所有から利用へ」社会の考え方も「シェア」に変化してきています。
一枚のパレットを繰り返し「循環」利用して「シェア」をする。
地球や環境に優しい社会のために新しい時代の物流を提案します。

SOCIAL
SHARING
SUPPORTER

*Circulate the
environment*

使って、直して、再利用のレンタルパレット

出来るだけ長く使う(リデュース)、持続可能な資源を使う(リユース)、再利用する(リサイクル)、
3つのRで循環型の事業に取り組んでいます。

Reduce リデュース

41期の修繕パレット枚数

45,068枚

長年繰り返し利用され割れや欠けが生じた木製パレット。木製パレットは板を張替えて補修することにより更に長い期間利用が可能です。uprの子会社UPSの職人たちによって生まれ変わったパレットはまたお客様のもとで繰り返し活躍しています。



木製パレット

Before



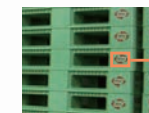
After

Reuse リユース

RR50パレットの購入枚数

70,185枚

リサイクルされ、粉碎され、新しい原料と50%の割合で再生プラスチックパレットとして生まれ変わったRR50のパレットを購入することにより循環型社会構築に寄与します。



再生原料を使用した
製品マークです。
数字は再生原料の
割合を 示しています。



Recycling リサイクル

プラスチックパレットのリサイクルへの総重量

約1,200トン

役目を終えたプラスチックパレットは、原料として製造メーカーに回収されます。今期は52,125枚のプラスチックパレットが粉碎され、再度プラスチックパレットに成形されました。プラスチックパレットはしっかりとしたマテリアルサイクルが構築されています。

企業の労働環境改善にできること

物流クライシス。 深刻なドライバー不足を パレットが救う。

物流現場では荷物の手積み・手降し作業をドライバーが担うことも多く、荷役作業負担、長時間拘束に加え、ドライバーの高年齢化も拍車をかけ人手不足が深刻化しています。パレットの活用により、荷役作業の軽減、作業時間の短縮に繋がります。uprでは家庭紙業界大手4社様と共に問題解決のため、オリジナルサイズのパレットを開発しました。

Working hours

作業時間

大王製紙様は、働き方改革に向けいち早く導入を決定



大王製紙様はいち早くこの物流クライシスに取組み、日常生活に欠かせない品物を明日も変わらず届けられるよう、ドライバーの働き方改革に積極的に取り組まれています。

作業時間が

180分 → 140分短縮 40分

ドライバーの負担軽減を最優先に、パレット輸送化による積載効率低下は最小限に抑え、積み込み積降し合計時間は180分→40分に大幅短縮、フォークリフトによりドライバーの荷役作業も大幅に軽減しました。

Truck driver

トラックのドライバー

2028年にはトラックのドライバー不足が…

約 28万人*

約10年後の2028年度までにトラックドライバーの不足が約28万人まで拡大すると予想されています。既に2017年度には10万人が不足しており、物流クライシスは始まっています。若い人材の担い手不足によるドライバー減少と現職ドライバーの高齢化が大きな課題とされ、このままでは物流業界は更に深刻化し、トラックがあってもドライバーが不在で物が運べない、物流の大きな問題に直面することとなります。

*鉄道貨物協会による調べ



before



ティッシュ・トイレットペーパーの箱を一箱ずつ手で運んでおり、作業時間が長く、重労働。特に高年齢化が進んでいることからドライバーの負担大。

after



レンタルパレットを活用し、フォークリフトにより短時間でトラックへ大量の積み込み積降ろしが可能に。ドライバーの時間短縮と作業負担が軽減されました。

企業の労働環境改善にできること

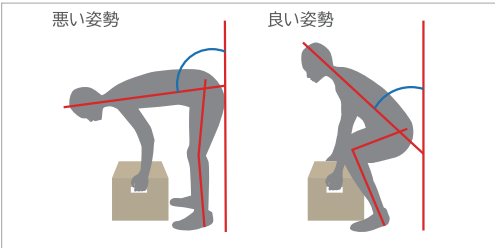
物流現場の声に答え、 腰の負担を軽減する サポートジャケットの開発。

現場の荷物の持ち上げ・持ち下げの際にかかる、作業者の腰・身体的負担を軽減する目的で開発された商品です。女性・高齢者など多様な作業者の負担軽減に向けた現場環境の改善にも期待できます。2010年よりアシストスーツ事業に取り組み、数千社のデモ実績により得た知識から導入を検討している皆様に、分かりやすく選んでいただけるご提案をしております。

Assist mechanism

腰や身体をアシストする仕組み

良い作業姿勢に導きアシストする



腰の悩みの要因は、頻繁な持ち上げ動作や前かがみ動作と言われています。日常作業で頻繁に行われる悪い姿勢を理想的な姿勢に導きながら、腹筋や背筋などの筋肉を正常に機能させ、身体にやさしく腰の負担を軽減させます。

導入事例 様々な業界の企業様にご利用いただいております。

農業



物流



介護



Support Jacket (Bb+Pro・FIT)

サポートジャケット

サポートジャケットの実績

約 10,000人の腰への負担を軽減

同じ作業を100回5日間繰り返した場合の腰椎椎間板への圧力減少効果

約 6~8トン

※モデルを身長163cm、体重55kgと仮定した場合の計算結果
※検証方法:20代健康成人15名(男女)に重さ10kgの荷物を床からテーブルに持ち上げる動作で、本製品装着、未装着で実施し動画で記録、頭部・体幹・膝などの角度を最終試行画像にて解析し、国際的な職業腰痛リスク評価法(ISO/TR12296)であるREBAで評価した。

学生たちの思い出作りに寄与できること

修学旅行を一元管理し、
生徒の安全を守り、先生の負担軽減、
保護者には安心を提供し、
皆が思い出に残る楽しい修学旅行に。

パレットの位置を把握する目的でスタートした位置情報ビジネスが発展し、

学生たちの修学旅行の管理アプリを提供。

少子化社会の中で大切な子供たちの成長を見守ります。

Number of students

生徒数

これまでに見守ってきた生徒

約 **330** 万人

2005年から採用いただいている修学旅行支援企業である
(有)ペーアンドビー様を通じて見守ってきた生徒数。



Management application

管理アプリの用途

1 生徒から先生に連絡



生徒は連絡用に当社アプリインストール済みスマホを所持。自身の現在地の連絡、自由行動中のトラブル、体調不良時に離れていても先生に連絡が可能。

2 生徒の位置を把握



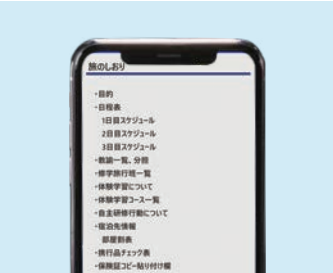
生徒の位置を把握することが出来ます。先生は複数の生徒を一元管理。集合時間に遅れる生徒、遠くに出かけている生徒の現在位置情報を確認できます。

3 自分で現在地を確認



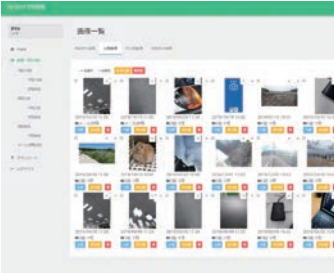
災害時など万が一の事態の際は、アプリを使って近くの避難場所までの道案内を受けることが可能です。

4 デジタルしおり



旅のしおりは紙ではなくスマートフォンで管理。最新情報をすぐに確認可能。ペーパーレス化により無駄な印刷・経費削減、地球にも優しい。

5 写真をクラウドに共有



旅行中撮影した写真をクラウド上でグループ、クラス毎に保存。旅行後の課題もスムーズに。保護者も閲覧可能で帰宅後の親子の会話も弾みます。

人、街、社会に優しい交通を実現すること

所有から利用へ。
超小型電動自動車の
シェアリングを推進する。

現在upriは豊田市で実施している超小型電気自動車(EV)を

利用したカーシェアリング「Ha:mo RIDE 豊田」の運営を行っています。

豊田市では豊田市内に約50か所のステーションを設置し

1人乗り電気自動車P・COM約120台を使用した

ワンウェイカーシェアリングを行っています。

電気自動車の電力は地域産の再生可能エネルギーを使用しております。

Registered cars

登録車両

約 **120** 台

諸 元	
名称	P・COM
乗車定員	1名
種別	原付ミニカー
最高速度	60km/h
1充電走行距離	50km程度 (jco8類似モード走行による)



Registered users

登録者

会員登録者数

約 **6,180** 人
(2019年8月)

利用回数

約 **3,840** 回/月
(2018年度平均)



SDGsとよた再エネチャレンジ

1 再生可能エネルギーの地産地消

ラグビーワールドカップ2019™の開催にあわせて、豊田スタジアム、スカイホール豊田、とよたエコフルタウンに地域産の再生可能エネルギーを供給。

2 環境価値(CO₂フリー)の地産地消

地域産の再生可能エネルギーの「CO₂フリーの価値」を「グリーン電力証書」として民間事業者が購入することで、自動車の製造時や走行時などのCO₂の排出量を削減。

3 市民参加による環境行動の促進

次世代自動車を利用して、とよたエコフルタウンなどに訪れる市民に対し、とよたエコポイント等を付与することで環境行動を促進。

地球環境保全のためにできること

東南アジアでの 保全植林事業に 地域とともに取り組む。

uprのメイン事業であるレンタルパレット。

木製パレットの保有枚数は約80万枚。

木材を利用する企業として保全植林事業に2007年から取り組んでいます。

41期は3年間のプロジェクト最終年となった

ミャンマー植林プロジェクトについての報告です。

Number of years

プロジェクト年数

植林プロジェクトは

13年目

2007年～2009年 インドネシア

2010年～2015年 マレーシア

2016年～2019年 ミャンマー

続けていくことが大切であると考え、

今後も引き続き取り組んでまいります。



Actual achievement

実際の成果

3年間のプロジェクトによる

植栽面積は

植栽本数は

18ha 13,500本

ミャンマー国マンダレー管区ニャンウー群区ラトケ/テトランカン村では、厳しい気候条件から自然更新が難しく、過放牧や伐採などによる森林減少・劣化が特に深刻なことから、ミャンマー政府が緑化事業に力を入れています。地域住民と共同で取り組むことにより住民への森林保全の教育を促進することや、地域住民の社会経済的發展を支援しています。弊社からの寄付金による植栽面積は今回6ha、プロジェクト期間3年間で計18ha、植樹本数は4,500本/年・プロジェクト期間3年間で13,500本のユーカリカマルドレンシス、アカシア・カテチュー、ハミルトンチーク、ステルクリアヴェルシコラル*の4種を植樹いたしました。植樹した苗木は大体8-10年で成木になり、地域住民の家を建てるための資材利用、料理用燃料として消費されます。初年度(2017年)に植林したエリアも訪問し、木々が順調に成長している様子を確認しました。



*ステルクリアヴェルシコラルは植樹から4年ほどで樹脂(ガム・増粘剤)の採取が可能であり、地元住民はそれを使って、収入を得ることとなっています。

発祥の地に貢献すること

ユーピーアールスタジアムなど、 多彩な活動が 地域を活性化する。

ユーピーアールスタジアムでは全国高校野球大会の予選、

山口県中学校野球大会などが行われております。

また、ユーピーアール杯少年野球大会を主催して

地域の活性化に貢献しております。

スタジアムの整備充実化により地元のスポーツ振興と野球を通して

子供たちの健全なる育成に更に寄与してまいります。



Contribution

寄付金

創業の地である山口県宇部市に

1,000万円

41期は6月12日、東証第二部に上場した記念として創

業の地である山口県宇部市に1,000万円の寄付を行

い、宇部市より感謝状を受領しました。本寄付は地元貢

献を目的とし、弊社が2011年から宇部市とネーミングラ

イツ契約を締結している「ユーピーアールスタジアム」の

整備に活用され、スコアボードに球速を表示するための

スピード測定器などを導入する予定です。



山口県にプロスポーツチームをつくること

レノファ山口を 支援して 地域の発展に寄与する。

2014年よりレノファ山口のメインスポンサーをつとめています。
当時山口県にはプロスポーツチームがありませんでした。
uprが生まれ育った山口県への恩返しとして
「地元でプロスポーツを!」という思いでスポンサーを開始しました。
ユーピーアールロゴを胸に懸命にボールを追う選手たちを
地域と企業一体となって応援しています。

Victory road 栄光への道

2014年から現在(2019年)で

JFL → J3 → J2

観客動員数

約 1,000人 → 約 6,123人

現在J2で活躍するレノファ山口も、2014年当時はJFLに所属、2015年にJ3へ昇格し、2016年からJ2へ昇格し順調に実力を発揮しております。観客動員数も1,000人未満からのスタートでしたが、今では平均6,123人ものファンがホームである維新みらいふスタジアムに来場。熱い応援と共にスタジアムはオレンジに染め上がり、地域の活性化に貢献しております。



「山口ゆめ花博」に協賛すること

循環型社会を象徴する 木製パレットを提供して、 花博会場を盛り上げる。

山口市の山口きらら博記念公園で開かれた、
「山口ゆめ花博」(第35回全国都市緑化やまぐちフェア)で
会期の2018年9月14日～11月4日まで430枚の木製パレット無料貸出提供し、
メインゲートをはじめ会場施設で活用されました。
また、累計来場者数は136万8,445人を記録し、
当初目標の2.7倍を達成しました。

Exposition visitor 博覧会来場者

期間中の「花博」来場者数

約 136万人

「山口ゆめ花博」の累計来場者数は136万8,445人を記録。当初目標の2.7倍を達成しました。9月14日の開幕から52日間の期間中、台風接近によって1日の休場がありましたが、遊具や体験、イベントに力を入れていたことから県内外から多数の観光客が来場しました。



Number of flowers 花の数

花博開催中に会場で咲き誇った花数

1,000万本

明治維新から150年を迎える年でもあることから、「山口から開花する未来への種まき。」～150年を振り返り、次の150年につなぐ～をテーマに、未来の公園のあり方を提案した山口県山口市の山口きらら博記念公園で2018年の秋に開催された「山口ゆめ花博」。園内には花のゾーン・海の外遊びゾーン・2050年の森のゾーンなど8つのゾーンに別れており、花のゾーンでは1,000万本の花が咲き、絨毯のような「お出迎えの花庭」、山口県オリジナルの花が咲く「おもてなしの花庭」など、5つのコンセプトをもった花庭が1つの大花壇に集結しました。



Pallet trucks パレット

無償で貸与したパレット数

430枚

木製パレット11型を430枚無料貸出協力。メインゲートではパレットを格子状に配置し来場者を迎えて圧倒しました。また、会場内の設営にもパレットをご利用いただき、自然を慈しむ循環型社会の表現と美しく咲く花々の装飾に寄与しました。

